

社会政策学会 Newsletter

学会本部 大阪市立大学経済学部 玉井 金五気付 URL <http://oohara.mt.tama.hosei.ac.jp/sssp/>
 Tel 06-6605-2275 Fax 06-6605-3066 E-mail tamai@econ.osaka-cu.ac.jp
 事務センター 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-7-2 大橋ビル (株)ワールドプランニング
 Tel 03-3431-3715 Fax 03-3431-3325 E-mail world@med.email.ne.jp

<目次>

1. 第 111 回大会プログラム
2. 編集委員会からのお知らせ
3. 春季大会企画委員会からのお知らせ
4. 第 112 回大会開催のお知らせ
5. 幹事会議事録
6. 承認された新入会員
7. 学会本部から

1. 第111回大会プログラム

於 北海道大学

第1日 2005年10月8日(土)

9:30~11:30 書評分科会、テーマ別分科会
自由論題

<書評分科会・第1 労働問題>

【1番教室】

- 座長 山本興治 (下関市立大学)
1. 木村保茂・永田萬亨 『転換期の人材育成システム』学文社、2005年 熊沢透 (福島大学)
 2. 平地一郎 『労働過程の構造分析』御茶の水書房、2004年 土屋直樹 (武蔵大学)
 3. 石田光男 『仕事の社会科学』ミネルヴァ書房、2003年 中村圭介 (東京大学)

<書評分科会・第2 中国の社会保障>

【W517教室】

- 座長 菅沼 隆 (立教大学)
1. 王 文亮 『億農民の福祉』中国書店、2004年 沈 潔 (浦和大学)
 2. 鍾 仁耀 『中国の公的年金改革』法律文化社、2005年 于 洋 (早稲田大学大学院)
 3. 田多英範編 『現代中国の社会保障制度』流通経済大学出版社、2004年 沢田ゆかり (東京外国語大学)

<テーマ別分科会・第1(労働史部会)>

ホワイトカラーの教育とキャリア 比較史の試み

【5番教室】

- 座長・コーディネーター 木下 順 (國學院大学)
1. 「ドイツ大企業におけるホワイトカラーの教育とキャリア形成」 田中洋子 (筑波大学)
 2. 「戦前期日本電機企業の技術開発と技術者の職務・能力開発」 市原 博 (駿河台大学)

<自由論題・第1 雇用・労働市場・生産システム>

【6番教室】

- 座長 猿田正機 (中京大学)
1. 「正社員登用の運用と展望 京都府内企業の若年者人材の採用動向等調査」を題材に 林 祐司 (京都大学大学院生 / 日本学術振興会特別研究員)
 2. 「日本における生産システムの近年の動向 セル生産方式を中心に」 伊佐勝秀 (一橋大学)
 3. 「1990年代中国農村における「出稼ぎ」農民に関する考察」 楊 世英 (東北学院大学)

<自由論題・第2 社会保障の歴史、公的年金の財政>

【W409教室】

- 座長 大西秀典 (尾道大学)
1. 「フランス第三共和政期の共済組合運動 社会立法への取り組みを中心に」 廣澤孝之 (松山大学)
 2. 「戦前期日本における「長期保険」構想と労働者年金保険 階層別視点に基づく配置」 中尾友紀 (中部学院大学)
 3. 「日本の公的年金制度における財政検証方法について 公的年金財政状況報告、平成14年度版を中心に」 畠中 亨 (中央大学大学院生)

<自由論題・第3 労使関係>

【W410教室】

- 座長 竹田昌次 (中京大学)
1. 「成果主義と賃金決定 2004 連合生活アンケートに基づく実証分析」 浦坂純子 (同志社大学)
 2. 「解雇と経営参加」 野田知彦 (大阪府立大学)
 3. 「行政改革と労使関係 2つの市の比較研究」 前浦穂高 (東京大学大学院生)

11:30~12:50 昼休み
(幹事会、各種委員会、専門部会)

12:50~14:50 書評分科会、テーマ別分科会、自由論題

<書評分科会・第3 ヨーロッパの地方行政と社会政策>
【1番教室】

座長 阿部 誠 (大分大学)

1. 武田公子 『ドイツ自治体の行財政改革』法律文化社、2003年 豊田謙二 (福岡県立大学)
2. 近藤克則 『医療費抑制時代を超えて イギリスの医療・福祉改革』医学書院、2004年 渡辺 満 (広島大学)
3. 榎田 洋 『分権型福祉社会と地方自治』桜井書店、2004年 横山純一 (北海学園大学)

<テーマ別分科会・第2 (産業労働部会)>

ホワイトカラーの仕事管理 【6番教室】
(12:50~17:00)

座長: 佐藤 厚 (同志社大学)

コーディネーター 中村圭介 (東京大学)

1. 「仕事管理の分析枠組み」 中村圭介 (東京大学)
2. 「成果主義」先進企業における仕事の管理 電機メーカーの事例」 佐野嘉秀 (東京大学)
3. 「百貨店における業績管理と人事管理」 小野晶子 (労働政策研究 研修機構)
4. 「トヨタのホワイトカラーの仕事管理」 石田光男 (同志社大学)

<テーマ別分科会・第3>

社会的包摂の系譜と課題 英・仏の経験から 【5番教室】

座長: 大澤真理 (東京大学)

コーディネーター 今井貴子 (北海道大学)

討論者: 宮本太郎 (北海道大学)

1. 「フランスにおける社会的包摂論の系譜」 田中拓道 (北海道大学)
2. 「社会的排除 包摂とは何か? 概念整理の試み」 菊地英明 (国立社会保障・人口問題研究所)
3. 「包摂」の政治過程 イギリス労働党の政治選択と政策展開」 今井貴子 (北海道大学)

<テーマ別分科会・第4>

アジアの社会開発政策 現状と展望 【W409教室】

座長・コーディネーター 埋橋孝文 (同志社大学)

コメンテーター: 上村泰裕 (法政大学)

1. 「フィリピンの都市部における貧困対策 コミュニティへの期待」 小田川華子 (同志社大学大学院生)
2. 「社会保障制度整備とアジアの視点」 山本克也 (国立社会保障・人口問題研究所)

<自由論題・第4 障害者・高齢者の生活問題、貧困問題> 【W410教室】

座長 室住真麻子 (帝塚山学院大学)

1. 「精神障害者と家族の生活問題の構造 社会保障・社会福祉の対象課題として」 高林秀明 (熊本学園大学)
2. 「イギリスの高齢者における障害の発生と障害レベルと社

会経済的地位との関係」

石井加代子 (慶應義塾大学大学院生)

3. 「日本における相対的剥奪指標と貧困の実証研究」 阿部 彩 (国立社会保障・人口問題研究所)

<自由論題・第5 韓国・中国の福祉政策> 【W517教室】

座長 伊藤淑子 (北海学園大学)

1. 「韓国の高齢者福祉制度をめぐる新しい動向 公的高齢者療養保障問題を中心に」 李 玲珠 (同志社大学大学院生)
2. 「韓国における老人福祉政策の展開過程」 鄭 在哲 (早稲田大学大学院生)
3. 「中国の社会構造変化と社区の役割 中国都市部の実態調査から」 陳 彩玉 (日本女子大学大学院生)

15:00~17:00 テーマ別分科会、自由論題

<テーマ別分科会・第2 ホワイトカラーの仕事管理(続き)> 【6番教室】

(12:50~17:00)

<テーマ別分科会・第5 (国際交流分科会)>

東アジアの福祉レジーム 【W409教室】

座長: 朴 光駿 (佛教大学)

コーディネーター 鍾 家新 (明治大学)

朴 光駿 (佛教大学)

1. 「Korean Developmental Welfare Regime: In Search for a New Regime Type in East Asia」(韓国の発展主義福祉レジーム?? 東アジア福祉国家類型化のための模索) 鄭 武權 [Cheong Moo-Kwon] (韓国 延世大学)
2. 「Social Transformations and Development of Welfare Pluralism in Reform China: Is There a Chinese Welfare Regime?」(改革期中国における社会体制転換と福祉多元主義の発展) 熊 ? 根 [Xiong Yuegen] (中国 北京大学)

<テーマ別分科会・第6 (労働組合部会)>

地域社会と労働組合 【5番教室】

座長: 高木郁朗 (日本女子大学)

コーディネーター 鈴木 玲 (法政大学)

1. 「ローカルセンターにおける組織化の取り組み 連合埼玉と埼玉連の事例」 山垣真浩 (法政大学非常勤講師)
2. 「民間大企業労組と地域社会」 藤田栄史 (名古屋市立大学)
3. 「コミュニティ・ユニオンと地域社会」 福井祐介 (九州女子大学非常勤講師)

<テーマ別分科会・第7(非定型労働部会)>
非正規労働の国際比較 日本・オランダ・アメリカ
【W410 教室】

座長・コーディネーター 小越洋之助(國學院大學)
1. 現代日本における間接雇用 派遣労働 業務請負を
中心に」 伍賀一道(金沢大学)
2. 「オランダにおける非典型労働」 権丈英子(亜細亜大学)
3. 「アメリカにおけるスタッフィング産業の戦略と対抗する運
動」 仲野(菊地)組子(同志社大学非常勤講師)

<自由論題・第6 ジェンダー、看護労働>
【1番教室】

座長 三山雅子(同志社大学)
1. 「日本における有配偶女性の就業移動に関するイベント・
ヒストリー分析」 四方理人(慶應義塾大学大学院生)
2. 「生活保護受給母子世帯と自立支援 釧路市を事
例として」 中園桐代(釧路公立大学)
3. 「看護労働力移動とフィリピンでのグローバル戦略」
山田亮一(日本メディカル福祉専門学校)

<自由論題・第7 社会的包摂、ワークフェア、リバー
スモーゲージ>
【W517 教室】

座長 平地一郎(佐賀大学)
1. 「EUにおける社会的包摂政策の展開 その方法と成
果の検証」 福原宏幸(大阪市立大学)
2. 「ワークフェアと再分配 英国の経験(1997-2004)」
田中聡一郎(慶應義塾大学大学院生)
3. 「オーストラリアのリバースモーゲージ(持家福祉年金制
度)」 倉田 剛(住宅資産研究所)

17:10~17:40 臨時総会 【8番教室】

18:30~ 懇親会 【ピアケラー札幌開拓史】

第2日 2005年10月9日(日)

共通論題 【学术交流会館大講堂】
社会政策における福祉と就労

座長 武川正吾(東京大学)
都留民子(広島県立大学)

9:40~12:15

報告1. 「福祉と就労をめぐる社会政策の国際的動向」
埋橋孝文(同志社大学)

報告2. 「福祉政策の中の就労支援 貧困への福祉対応
をめぐって」 岩田正美(日本女子大学)

報告3. 「職業生活への移行支援と福祉」
小杉礼子(日本労働政策研究 研修機構)

12:15~13:30 昼休み
(幹事会、各種委員会、専門部会)

13:30~14:20

報告4. 「就労 福祉 シティズンシップ」
田村哲樹(名古屋大学)

14:40~16:30

総括討論

2. 編集委員会からのお知らせ

2006年9月刊行予定の『社会政策学会誌』第16号に掲載
する投稿論文を募集しています。掲載ご希望の方は、2006年
1月20日(当日消印有効)までにお送りください。投稿資格、
投稿論文執筆要領やレフェリー 規程については、社会政策学
会ホームページにてご確認ください。

投稿ご希望の方は、封筒に「社会政策学会誌 投稿論文在
中」と朱書きのうえ、法律文化社編集部宛に簡易書留でお送
りください。なお、送付先は学会本部(大阪市立大学)とは別
の所ですので、ご注意ください。

【送付先】

〒603-8053 京都市北区上賀茂岩ヶ垣内町71
(株)法律文化社編集部
(担当 浜上 知子【はまがみ・ともこ】)

【問合せ先】

社会政策学会誌編集委員長 橋元 秀一
E-mail hsyu@kokugakuin.ac.jp
社会政策学会誌編集副委員長 乗杉澄夫
(秋季号編集責任者)
E-mail sumi-n@emily.eco.wakayama-u.ac.jp

3. 春季大会企画委員会からのお知らせ

2006年6月3日(土)4日(日)に東京の立教大学にて第112回春季大会が開催されます。共通論題のテーマは、『格差社会 - 新自由主義の帰結?』(仮題)です。報告者は、所得の格差について、谷沢弘毅氏、教育の格差について、苅谷剛彦氏、労働の格差について、斉藤貴

男氏、福祉の格差について、玉井金五氏を予定しています。どうぞふるってご参加ください。また自由論題・テーマ別の分科会報告について、10月半ばより募集を始めます。詳しくはホームページをご覧ください。みなさんからの積極的なご応募をお待ちしています。

(文責 田中洋子)

4. 第112回大会開催のお知らせ

社会政策学会第112回大会開催の日程が決まりました。開催日2006年6月3・4日(土、日)会場 立教大

学池袋キャンパス、池袋駅より徒歩7分、皆さま、奮ってご参加下さい。

(菅沼隆記)

5. 幹事会議事録

【第10回幹事会議事録】

日時：2005年5月27日(土)午後1時30分 5時
場所：専修大学生田校舎9号館二階92B会議室
出席：阿部、木本、熊沢、猿田、菅沼、竹内、武川、田中、玉井、富田、橋元、服部、兵頭、宮本、室住、森、山本
欠席：大沢、伍賀、佐口、野村、乗杉、橋本、松丸、伊藤

議題

1. 新入会員承認
12名の新入会員を承認した。
2. 学会賞選考委員会報告
高木委員長から選考経過と受賞決定についての報告があった。学術賞、奨励賞は以下のとおりである。
学術賞 谷沢弘毅『近代日本の所得分布と家族経済』日本図書センター
奨励賞 中村圭介『行政サービスの決定と自治体労働関係』明石書店、中村執筆部分
同 矢野 久『ナチスドイツの外国人』現代書館
3. 現勢報告
玉井代表幹事から2005年5月20日現在の会員数の報告があった。それによると、一般会員889名、院生会員154名、名誉会員28名、の計1071名であった。
4. 総会議事次第
玉井代表幹事から28日の総会に諮る議事次第について、資料をもとにした説明があった。
5. 2004年度活動報告
玉井代表幹事から資料をもとにした活動内容の説明があった。
6. 2004年度決算報告
服部幹事から資料をもとにした説明と、伊藤会計監査の監査が終了したことについて報告があった。
7. 2005年度活動方針
玉井代表幹事から資料をもとにした方針内容(案)の説明があった。
8. 2005年度予算案
服部幹事から資料をもとにした予算案の内容について説明があった。
9. 110回大会について
兵頭幹事から大会の準備状況について、報告があった。
10. 春季大会企画委員会報告
田中委員長より110回大会にさいしてのペーパーの提出状況について、報告があった。また、大会報告資料のホームページ掲載のあり方について、課題提起があった。企画委員長、ホームページ担当幹事等が中心になって、問題が起こらないようにその運営を行っていくことが確認された。
11. 111回大会について
宮本幹事から準備状況について、報告があった。とくに、ネット上での大会参加の申し込み形式導入を学会のホームページとリンクする形で行うために、それにかかわる問題点について意見交換した。また、110回大会終了後できるだけ早い時期にネット上にアップする予定であるとの指摘があった。
12. 秋季企画委員会報告
阿部委員長から用意された資料をもとに、111回大会の内容についての説明があった。また、今後の秋の開催校について言及があった。2006年秋の113回大会は大分大学で開催されることが決定している。これに関連して、2007年秋の115回大会は龍谷大学が開催校となるとの発表が玉井代表幹事からあった。
13. 編集委員会報告
橋元委員長から編集の状況について報告があった。とくにレフリー論文の投稿とその内容にかかわる問題点が指摘され、それについて意見交換した。また、前

年度に引き続き、科学研究費による出版助成申請を行ったが、今回は採択されなかったとの報告があった。

14. 国際交流委員会報告

武川委員長より、今回ゲストスピーカーとして学会報告していただくマイケル・ヒル氏の来日とそのスケジュールについて報告があった。28日の午後にヒル氏を囲んでの懇談会をもつこともあわせて確認された。

15. ホームページ担当報告

大会報告資料のホームページ掲載についての橋本メモをもとに、そのあり方をめぐって意見交換した。

16. 日本学術会議関係報告

17. 選挙管理委員会の発足について

今秋に次期役員選挙があり、幹事会は次の4名の委員に委員を委嘱した。森建資会員、室住真麻子会員、山本興治会員、田中拓道会員。

18. 名誉会員の推挙について

玉井代表幹事から戸塚秀夫、高梨昌、竹中恵美子、小林英夫の4会員を名誉会員として推薦したい旨の提案があり、幹事会として推挙することに決定した。

19. その他

菅沼幹事から日本経済学会連合の最近の動きについて報告があった。

【第11回幹事会議事録】

日時 2005年5月28日午前11時30分 午後1時

場所 専修大学生田校舎9号館二階92B会議室

出席 大沢、木本、熊沢、伍賀、佐口、武川、玉井、服部、松丸、宮本

欠席 阿部、猿田、菅沼、武川、竹内、田中、富田、野村、乗杉、橋元、橋本、室住、森、山本、伊藤

議題

1. 新入会員承認

4名の新入会員を承認した。

2. 110回大会について

第1日目が無事にスタートしたことを確認した。

3. 総会について

総会の案件の確認と時間配分を行った。

4. ヒレ氏との懇談について

幹事会終了後ヒレ氏との懇談の場をもつことにした。

5. その他

学会誌改革の一環として懸案になっているジャーナリ化について意見交換した。

【第12回幹事会議事録】

日時 2005年5月29日午後12時30分 2時

場所 専修大学生田校舎ゼミ22教室

出席 木本、武川、玉井、服部、兵頭、森、伊藤

欠席 阿部、大沢、熊沢、伍賀、佐口、猿田、菅沼、竹内、田中、富田、野村、乗杉、橋元、橋本、松丸、宮本、室住、山本

議題

1. 新入会員

4名の新入会員を承認した。

会員申込書の様式を一部工夫すべきとの意見があり検討することにした。

2. 110回大会について

兵頭幹事から第2日目も順調に進行していること、ならびに参加者数の報告があった。

3. 111回大会について

開催校から要望の出ているネット上での参加申し込み形式導入について、学会ホームページへのリンクが必要になるので、ホームページを管理してくださっている二村会員に協力をお願いした旨、玉井代表幹事から報告があった。

4. その他

玉井代表幹事から昨日行われたヒレ氏との懇談内容について報告があった。

学会賞選考委員一名の任期が切れるので、候補者の検討をすることにした。

若手育成のあり方について自由に意見交換した。

【第13回幹事会議事録】

日時 2005年7月9日(土)午後4時 - 7時

場所 東京大学経済学研究科棟12階第2共同研究室

出席 阿部、木本、伍賀、佐口、菅沼、竹内、武川、田中、玉井、乗杉、橋元、服部、兵頭、松丸、宮本、室住、森、山本

欠席 大沢、熊沢、猿田、富田、野村、橋本、伊藤

議題

1. 新入会員承認

13名の新入会員を承認した。

2. 110回大会総括

兵頭幹事から第110回大会実行委員会によって取り纏められた文書(ニューズレター5号に掲載)をもとに報告があった。大会中とくに大きな問題はなかったが、事前のペーパー提出期限が守られないこと、追加資料の印刷が発生したこと等の指摘があった。

3. 秋季企画委員会報告

阿部委員長から資料をもとに111回大会関係の報告があった。今回もテーマ別分科会、自由論題の応募がかなりあり春の大会とほぼ同じ規模になりつつあるとの指摘があった。併せて、プログラムの作成の進捗状況についての報告がなされた。

4. 秋季大会開催校報告

宮本幹事から秋季大会の準備状況について報告があった。今回から大会へのエントリーの手続き等について民間業者がかかわっておりそれについての説明があった。その他、準備に関連する事項について、いくつかの言及があった。

5. 春季企画委員会報告

田中委員長から来年の春季大会の準備状況について報告があった。共通論題のテーマとして「社会的格差の拡大」を正面に据えていきたいと考えていること、また報告者についても非会員を含め、かなり具体的な名前があがってきているとの指摘があった。

6. 112 回大会について

菅沼幹事から来年春の 112 回大会 (立教大学) についての報告があり、大会実行委員会が発足したことが明らかにされた。

7. 編集委員会報告

橋元幹事から編集関係の報告があった。とくに、14 号、15 号の進捗状況について説明があった。また、レフリー制、投稿システムの現状についての問題点の指摘もなされ、それらをめぐって意見交換した。

8. 国際交流委員会報告

武川幹事から国際交流関係についての報告があった。まず、先の春季大会ではイギリスのヒレ先生が参加、報告されたこととともに、幹事会メンバーと交流会をもったことについて言及があった。また、8 月には中国・天津の南開大学で社会政策に関する国際会議があること、その後 9 月には中国・北京の人民大学で東アジアの社会保障に関する国際会議があり、一部の学会メンバーが参加、報告することについての説明があった。また、来年春に千葉大学で社会政策関係の国際会議が開催されるが、本学会への共催の申し入れがきていることについての説明があり、了承された。

9. ホームページ担当報告

ホームページに掲載する大会報告資料についての状況報告がなされ、そのあり方をめぐって意見交換した。

10. 学会賞選考委員会報告

学会賞選考報告 (ニュースレター 5 号に掲載) の内容紹介があった。また、学会賞選考委員 1 名の任期満了につき、その補充については代表幹事と現選考委員の協議に委ねることが了承された。

11. 日本学術会議関係報告

松丸幹事から本会議はこの 10 月から新しい体制になること、それに伴って現在の学術会議ニュースメールも 9 月で終了するとの報告があった。

12. 選挙管理委員会報告

森委員長からニュースレター 5 号に掲載する「委員会からのお知らせ」(案) の提示があり、了承された。

13. ニュースレターについて

次の第 5 号は 7 月 22 日に発行する予定であるとの報告が代表幹事からあった。

なお、秋の開催校の宮本幹事からニュースレターに大会案内のチラシを同封したい旨の要望が出され、了承された。

14. その他

春と秋の大会をより対外的にアピールするために、今後大会内容を知らせるポスター作りをしていくべきではないかという提案があり、議論した。すでにそうしたことを実行している学会もあり、方向としては検討すべき課題として位置づけることになった。なお、次回幹事会日程は 9 月 16 日 (金) に大阪でということではとまず決定するが、代表幹事の中国出張日程によっては再度調整があるかもしれないということで、了承を得た。

6. 承認された新入会員

氏名	所属	専攻	推薦者
< 9 月 13 日の第 14 回幹事会で承認 (6 件) >			
張 京萍	岩手県立大学社会福祉学部	社会保障・社会福祉	田多英範 土田武史
佐野嘉秀	東京大学社会科学研究所	労使関係・労働経済	中村圭介 青木宏之
菊池いづみ	お茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程	社会保障・社会福祉	平岡公一 金 智美
小池正雄	信州大学農学部	社会保障・社会福祉	玉井金五 服部良子
金 涛	信州大学大学院総合工学系研究科博士課程	社会保障・社会福祉	玉井金五・服部良子
山本大造	愛知大学経営学部	労使関係・労働経済	篠原健一 鹿嶋秀晃

7. 学会本部から

ニュースレター 対しまして、ご意見、ご希望がありましたら、学会本部までぜひお寄せください。
以下は、連絡事項です。

- 1) 各部会からの費用請求は 1 年分 (領収書同封) をまとめて、2 月末までに学会本部にお送りください。
- 2) 各部会で責任者、委員等の交替が生じましたら、できるだけ速やかに学会本部までお知らせください。